

事業実績（研修）報告⑥

1. 研修の概要

- (1) 目的 グリーフケア、デススタディについて
- (2) 日時 2月19日（土） 13時30分～15時30分
- (3) 場所 東京都渋谷区 市川記念会婦選会館（自宅にてZoom受講）
- (4) 参加者 鈴木規子

2. 研修内容と所感

市川房枝記念会 2022 連続講座

テーマ：遺族の悲嘆とグリーフケア～死別の悲しみを超えて

講師 若林 一美氏（小さな風の会 代表世話人）

【専門：デススタディ】

- ・「小さな風の会」は1988年、毎日新聞に連載した「あー、風」の読者からの呼掛けから発足したセルフグループである。
- ・死別の悲しみにくれる遺族のカウンセリングに長年かかわっているE・グロールマンは悲嘆について、次のような言葉を残している。

親の死      あなたの過去を失うこと  
 配偶者の死    あなたの現在を失うこと  
 子どもの死    あなたの未来を失うこと  
 友人の死      あなたの人生の一部を失うこと

- ・悲しみは比べられるものではなく、その人の人生そのもの。小さな風の会では全国の会員を会報でつなぎ、集会では自らの体験を語り合うことで悲しみに寄り添う活動を続けている。講師はそうした実体験がないことで、第三者的な立ち位置となり、世話人を続ける要因になったものと捉えている。

- ・以下は、会の活動からまとめられたものの一部である。

子どもを自死で亡くした「亡き子へ～悲しみを超えて綴るいのちへの手記」岩波書店

「死別の悲しみを超えて」岩波現代文庫

「いのちのメッセージ～生きる場の教育学」ナカニシヤ書店

<所感>

- ・死別、特に子どもに自死から立ち直れる親はいない。学校現場のいじめ自死は惨すぎる。しかし、いつの間にかそれに慣れてしまっている社会になってはいないだろうか。
- ・本市での「デススタディ」、対策の必要性を考えたい。

項目	支出金額	備考
研修費	1,100円	受講料として
計	1,100円	